学校番号	305

令和８年度　地理歴史科

教科	地理歴史	科目	（学）世界史演習	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	「新詳　世界史探求」（帝国書院）						
副教材等							

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

世界史演習は、世界史探求の演習科目として東アジアとその周辺地域を中心に学びを深めていくことになります。東アジアとその周辺地域に学ぶにあたって重要になってくるのは、「ヨコ」のつながりです。古代から中国を中心とした世界があり、日本を含めた周辺地域の歴史に多大な影響を与えています。とはいえ、決して一方的な影響ではなく、中国から受けた影響が逆流して周辺地域から中国に影響を与えているということも理解しなければなりません。そこで、本科目では、主題を設定し、諸資料を比較したり関連付けたりして読み解きながら自らの歴史的思考力を育んでほしいと考えております。ただ覚えるだけではなく、覚えた知識を「使う」ことが大事なのです。

2　学習の到達目標

【知識及び技能】
世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる諸事象について、地理的条件や日本の歴史と関連付けながら理解するとともに、諸資料から世界の歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身につけるようにする。
【思考力、判断力、表現力等】
世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる事象の意味や意義、特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現代世界とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、歴史に見られる課題を把握し解決を視野に入れて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。
【学びに向かう力、人間性等】
世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に探究しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の歴史に対する愛用、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	東アジアとその周辺地域歴史的特質やその再編・変容の過程や地域間の交流・統合に関する基本的な知識を身につける。また、諸資料の読み取りに関する基礎的な技能を習得する。	諸資料（史料、年表、地図など）の読み取りを通じて、歴史的事象間の相互作用を考察する。また、地形や気候などの地理的条件と関連付けて歴史的事象を説明できるようにする	東アジアとその周辺地域の歴史の変化に関わる諸事象について、世界の中の日本や歴史が示す課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して日本国民としての自覚、我が国の歴史に対する理解や他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。			

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	諸地域の歴史的特質の形成	◆東アジアと中央ユーラシアの歴史的特質 ・中華文明の形成 ・秦漢帝国と東アジア ・中央ユーラシアと遊牧国家	a:古代における東アジアと中央ユーラシアの歴史的特質について理解している。 b:資料や図版などから適切に情報を読みとり、時期や立場による書かれ方の違いなどを判断している。 歴史総合で学習した冊封体制について複数の資料の関係や異同に着目して、資料から読みとった情報の意味や意義、特色などを整理し、表現している。 c:資料から読みとったことを生徒相互に発表したり、対話したりするなどして、資料にもとづいた考察をしようとしている。 資料を読みとる際の注意点を整理し、学習への見通しを立てようとしている。	定期考査	定期考査 史料読解・共有	授業ワークシート ペアワーク 発表
		◆東アジアと中央ユーラシアの歴史的特質 ・遊牧帝国の興亡と移動 ・ユーラシアの変動と東アジア ・ユーラシア東部の国際関係(探究活動)	a:東アジアと中央ユーラシアとの関係がより密接となり、互いに影響を与えていったことを理解している。 b:中華文明が遊牧国家の影響を受けていったこと、また、中華文明と日本との文化的交流を学ぶ際に、その分野の諸資料を読み解き、東アジア世界のつながり、両者のあり方・共通点や相違点・課題について考察している。 c:各分野の問いに対して、見通しをもって課題に取り組むとともに、自身の問いと関連づけながら追究しようとしている。 各分野の歴史的事象が、その後の時代にどのように変容するかなどの視点をもち、その後の学習につなげようとしている。また、過去の事象とのつながりを正確にとらえ、主体的に振り返ろうとしている。	定期考査 確認テスト ワークシート	定期考査 資料読解のワークシート 課題設定とペアワーク 個人発表	授業ワークシート パフォーマンス課題 課題プリント

2学期	二部　諸地域の歴史的特質の形成 三部　諸地域の交流・再編	◆南アジアと東南アジアの歴史的特質 ・南アジアの文明と国家形成 ・東南アジアの社会と国家形成 ◆ユーラシア大交流圏の成立 ・東アジア諸地域の成長と自立 ・ユーラシア大帝国の出現	a:南アジアと東南アジアの歴史的特質について理解するとともに、これらの地域が中華文明と陸上・水上交易を通じて交流があったことを理解している。 中国社会が唐末以降に変容を遂げ、宋代に見られる社会・経済・文化について理解している。 契丹や女真、モンゴルといった遊牧国家の拡大などを基に、海域と内陸にわたる諸地域の交流の広がりを構造的に理解している。 b:南アジアと東南アジアの歴史に関わる事柄、諸地域の交流の広がりに関わる諸事象の背景や原因、結果や影響、事象相互の関連、諸地域相互のつながりなどに着目し、主題を設定し、諸医療を比較したり関連付けたりして読み解き、中国社会の特徴と遊牧国家との関係などを多面的・多角的に考察し、表現している。 c:各分野の問いに対して、見通しをもって課題に取り組むとともに、自身の問いと関連づけながら追究しようとしている。各分野の歴史的事象がその後の時代にどのように変容するかなどの視点をもち、その後の学習につなげようとしている。また、過去の事象とのつながりを正確にとらえ、主体的に振り返ろうとしている。	定期考査 確認テスト ワークシート	定期考査 資料読解のワークシート 課題設定とペアワーク 個人発表	授業ワークシート パフォーマンス課題 課題プリント
	三部　諸地域の交流・再編 四部　諸地域の結合・変容	◆アジア諸域の成熟とヨーロッパの進出 ・明の国際秩序と東・東南アジア ・世界帝国清とアジア諸国の成熟 ・銀に見る世界の一体化 ◆世界の一体化の進展とアジアの変容 ・南・東南アジアの変容 ・東アジア諸国の模索と変容	a:西アジアや南アジアの諸帝国、清と日本・朝鮮などの動向を基に、アジア諸地域の特質を構造的に理解している。 b:アジア諸地域の動向に関わる諸事象の背景や原因、結果や影響、事象相互の関連、諸地域相互のつながりに宅目視、主題を設定し、諸資料を比較したり関連付けたりして読み解き、諸帝国の統治の特徴、アジア諸地域の経済と社会や文化の特色、日本の対外関係の特徴などを多面的・多角的に考察し、表現している。 c:東アジアや東南アジアに確立した諸勢力が互いにどのように結びついていたのか、また、ヨーロッパとの関りについて、見通しを持って学習に取り組み課題を主体的に追究しようとしている	確認テスト ワーク成果物	グループワーク	グループワーク プレゼンテーション レポート課題

3学期	四部　諸地域の結合・変容 五部　地球世界の課題	◆世界の一体化の完成とその影響 ・アジア知識人による体制改革の試み ◆世界大戦の時代 ・第一次世界大戦おtアジアのナショナリズムの展開 ・第二次世界大戦とその惨禍 ・戦後の国際秩序と冷戦 ◆冷戦の展開と平和の模索 ・多極化の始まり ◆グローバル化する国際経済とその課題 ・冷戦下の経済秩序と格差	a:地球規模での一体化と相互依存のさらなる強まりを、東・南・東南アジア世界を中心として諸地域の結合・変容を構造的に理解している。 東・南・東南アジア世界における「地球世界の課題」を扱い、諸資料を比較したり、関連付けたりして読み解き、歴史的に形成された地球世界の課題を理解している。 b:地球規模での一体化と相互依存のさらなる強まりを、東・南・東南アジア世界を中心として、その諸事象の背景や原因、結果や影響、事象相互の関連、諸地域相互のつながりなどに着目し、主題を設定し、諸資料を比較したり関連付けたりして読み解き、アジア諸国の結合・変容の特徴などを多面的・多角的に考察し、表現している。 東・南・東南アジア世界における「地球世界の課題」を扱い、その諸事象の背景や原因、結果や影響、事象相互の関連、諸地域相互のつながりなどに着目し、主題を設定し、諸資料を比較したり関連付けたりして読み解き、アジア諸国の結合・変容の特徴などを多面的・多角的に考察し、表現している。 c:各分野の問いに対して、見通しをもって課題に取り組むとともに、自身の問いと関連づけながら追究し、現代の課題を解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して日本国民としての自覚、我が国の歴史に対する理解や他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深めている。 各分野の歴史的事象が、その後の時代にどのように変容するかなどの視点をもち、その後の学習につなげようとしている。また、過去の事象とのつながりを正確にとらえ、主体的に振り返ろうとしている。	定期考査 確認テスト ワークシート	定期考査 資料読解のワークシート 課題設定とペアワーク 個人発表	授業ワークシート パフォーマンス課題 課題プリント

		・現代的な諸課題の形成と展望	a:諸資料から問いを立てることができることや、経緯や背景、共通点や相違点、担い手といった視点から整理することが有効であることを理解している。 身近な課題を考察するうえで歴史的な見方や考え方を活用することが、現在の課題解決や私たちの将来を構想するうえで大切であることを理解している。 b:事象の背景や原因、結果や影響などに着目して、日本とその他の国や地域の動向を比較し相互に関連づけたり、現代的な諸課題を展望したりするなどして、主題について考察、構想し、表現している。 資料に対し、その時代や資料を記録したものの立場などを文脈に応じて分析し、資料の意義を考察している。 c:自身で問いを立て、分析の方法や視点を設定し、その答えを追究しようとしている。 分析や考察の結果を他者と共有したり、比較したりして、自身の考えをより良いものに改善しようとしている。 より良い社会の実現を視野に歴史的な見方・考え方をいかそうとしている。	レポート ワークシート	レポート ペアワーク グループワーク プレゼンテーション	 グループワーク 課題設定ワーク

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度